



## ネクタイを締めることは自身のパッションを高めること

フランソワ・ヴィナス [アトリエF&B] オナー

アトリエF&Bはイタリアの高級ブランド。1970年代に創業した。1990年代にフランスに拠点を移し、現在はパリと東京に拠点をもち、世界的に展開している。1990年代のファッション界のリーダーとして知られる。現在は、自身のブランドの発展のために、イタリアのファッション界に貢献している。また、自身のブランドの発展のために、イタリアのファッション界に貢献している。

「じっくりとした梅雨どきの赤坂は、小室にジャケットを捲いたサラリーマンだらけ。百ばんだシャツから小汚く締めたネクタイはまるで悪魔が似た。「ネクタイを「UN」だと思って着こなしているサラリーマンを前から探している。まだ見つからないね」。オフィスビル上層にあるカフェテラスの窓から遠慮の光景を見下ろす若紳士が、スイスの高級ネクタイブランド「アトリエF&B」の3代目オーナーであるフランソワ・ヴィナスだ。同ブランドの年商は約100万ユーロ（約1億6,700万円）。今後5年で2倍にすることが目標だ。日本では都内有名セレクトのはが伊勢丹新宿店や梅田阪急などで取り扱われている。「イタリアのビッティ・ウオキにも出展している。夏のフィレンツェの気温は40度。でも、我々は決してネクタイもシャツの第1ボタンも外すことはない」。経営だけでなくクリエイションにも関わるヴィナスの今秋冬は、ノイズリー物が気分だとい

う。本人は笑って否定するが、甘いポップスを生かした広報活動にも積極的だ。来日は19回目。「今日はキャメル色のスーフビバージュのネクタイをダブルノットで深く強くマッチさせたよ。灰色の日本人と対照的だろ？」。少々意地悪な質問を投げしてみた。「クールビズの影響か？我々はシャツとのコーディネート提案で危機を回避したよ」。バカンスはジュネーブで妻と娘と過ごす。パテック・フィリップやフランク・ミュラーは地元のみよき友人だ。「時計が男の唯一のアクセサリーだと語る人もいる。私にとってはネクタイこそがジュエリー。ネクタイを締めることは、自身のパッションを高めること。しかも、決して真面目ではないところがポイントかな」。



「アトリエF&B」2007年秋冬コレクションから、高級感あふれるネクタイ。イタリアのファッション界のリーダーとして知られる。現在は、自身のブランドの発展のために、イタリアのファッション界に貢献している。